

可児郷土歴史館だより

No. 10
1994. 10. 1

発行
可児郷土歴史館

可児郷土歴史館と財団法人豊蔵資料館共催により、平成6年度特別展として故荒川豊蔵の生誕100年を記念する展示会を開催いたします。

荒川豊蔵は、国の重要無形文化財技術保持者（志野・瀬戸黒）であった、その生涯の多くを大萱で作陶に費し、沢山の名品を世に送り出しました。

昭和46年、77歳で文化勲章を受章された氏の業績は、財団法人豊蔵資料館において紹介され、可児・多治見両市の名誉市民として顕彰されています。

この展示会を通じて、氏の業績を市民の皆様にも広く紹介し、深く味わっていただければ幸いに存じます。



作陶風景(昭和31年)

特別展

「荒川豊蔵

生誕100年記念展」

平成6年10月7日(金)～11月27日(日)

会場 可児郷土歴史館「作品と収集品」

展示解説と映画会 10月16日(日)・11月23日(祝) 午後1時30分から

会場 財豊蔵資料館「作品と交友関係」

* 各会場の休館日と時間等にご注意下さい。(4頁参照)

2館同時開催

可児郷土歴史館 会場

可児市久々利1644-1 (☎64-0211)

「作品と収集品」

普段豊蔵資料館において公開されないものや、氏の作品の枠を紹介するとともに、収集された貴重な資料も展示いたします。



『志野茶碗』 銘「^{やどのうめ}耶登能烏梅」 昭和51年作

豊蔵82歳、晩年の作であるが、美しい姿の中に力強さも衰えていない。銘は万葉集の山上憶良の歌からとっている。



『瀬戸黒茶碗』 銘「みやび」 昭和40年作

「雪月花」の文字は、秩父宮妃殿下御染筆によるものである。



『双狗図』 俵屋宗達筆 江戸時代
この絵は、「菊慈童の図」と対になっているもので、いかにも宗達らしい水墨画である。(93.5×40.4 cm)



『陶製狛犬』 鎌倉時代
豊蔵が所蔵する狛犬の中で、一番好きだったという一点。陶製のものとしては古いものである。

(財)豊蔵資料館 会場

可児市久々利352 (☎64-1461)

「作品と交友関係」

水月窯で焼かれた豊蔵の代表的な作品を紹介するとともに、五窯歴遊において得られた作品や交友関係者の作品も展示いたします。



『粉吹笹の絵茶碗』 昭和31年作

日本画家川合玉堂が絵付をし、水月窯にて製作した作品
(川合玉堂) 明治6～昭和32年、愛知県生
昭和15年文化勲章受章



額絵『赤絵の鉢』前田青邨 筆

中国陶磁の赤絵の鉢をモチーフにした作品
(前田青邨) 日本画家、明治18～昭和52年
岐阜県生、昭和30年文化勲章受章



『奥村土牛・淡墨桜スケッチの図』豊蔵筆

昭和41年、日本画家の奥村土牛と共に根尾へスケッチに行った際、スケッチしている土牛を描いたもの
(奥村土牛) 明治22～平成2年、東京生
昭和37年文化勲章受章

平櫛田中書 李白の五言絶句「静夜思」の後半の句

「舉頭望山月」「低頭思故郷」

(平櫛田中) 木彫家、明治5～昭和54年、岡山県生
昭和37年文化勲章受章

両館の主な展示品 (写真掲載したもの他、主な展示品は以下のとおりです)

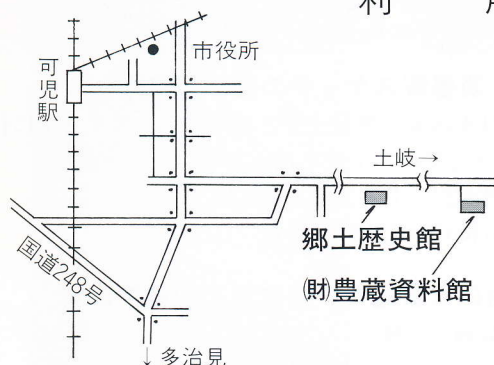
可児郷土歴史館

(財)豊蔵資料館

	品名	年代等		品名	作者等
豊蔵作品	志野茶碗 銘「随縁」	昭和36年作	豊蔵作品	色絵十便の内 樵便四方飾皿	水月窯にて
	志野茶碗 銘「秋風」	昭和36年作		染付十宜の内 宜晚四方飾皿	昭和52年、水月窯にて
	瀬戸黒金彩木葉文茶碗	昭和40年作		雲錦手鉢	昭和30年、水月窯にて
	瀬戸黒茶碗 銘「花の木」			紅白梅絵茶碗	水月窯にて
	黄瀬戸三脚 大鉢			粉吹茶碗	水月窯にて
	黄瀬戸水指	昭和30年作	五窯歴遊作品	赤絵人物図皿	昭和26年頃、水月窯にて
	鼠志野角切鉢	昭和18年作		萩茶碗	萩・深川坂倉窯にて
	美濃唐津皿 5客			丹波掛花入	丹波・西端末晴窯にて
	月照陶片 歎触の図			萩筒水指	萩・深川坂倉窯にて
	唐津浜松図			信楽茶碗	信楽・高橋榮斎窯にて
収集品	心意図			唐津壺	唐津・西岡小十窯にて
	美濃唐津茶碗	16C末	交友関係作品	備前花入	備前・金重陶陽窯にて
	志野筒茶碗	16C末～17C初		瀬戸黒茶碗 銘「如々」	平櫛田中筆
	瀬戸黒茶碗	16C末		瀬戸黒梅の絵茶碗	前田青邨筆
	織部長角透し向付 5客	17C初		志野梅の絵茶碗	奥村土牛筆
	織部瓢箪唐草文手付鉢	17C初		松の絵八寸飾皿	奥村土牛筆
	鳴海織部皿	17C初		志野茶碗	坂本繁二郎筆
	古瀬戸牡丹唐草文瓶子	14C後半		志野茶碗	熊谷守一筆
	伊賀筒水指	17C初		黄瀬戸大鉢	北大路魯山人作
	備前櫛目文壺	17C		志野酒盃	金重陶陽作
	唐津透し鉢	17C		黄瀬戸酒盃	金重陶陽作
	ベルシャ青釉碗			種子島花瓶	小山富士夫作
	呉須赤絵草花文大鉢	中国 明時代		瀬戸黒茶碗	川合玉堂筆
	餅花手藍地草花文大皿	中国 明時代		粉吹茶碗	島田菊僊老師筆
	狛犬 一對	室町時代		三輪休和書「如是」	
	信楽壺			佐藤朝山書「良寛の詩」	
	丹波壺			鯛の図	熊谷守一筆
	漆盆 寄せ五枚			素描「水車小屋」	前田青邨筆
	龍頭観音立像	円空作		素描「仕事場の風景」	前田青邨筆
	木彫天子像		↑	菅公図	仙厓禪師筆
	春屋宗園書			赤壁図詩 六曲一双	池大雅筆

*この他にも20数点の陳列を予定していますが、都合により、一部変更する場合があります。

利 用 案 内



可児郷土歴史館

休 館 日 月曜日と祝日の翌日
開館時間 午前9時～午後4時30分
入 館 料 大人300円、小人70円

(財)豊蔵資料館

休 館 日 月・火・水・木曜日(祝日を除く)
開館時間 午前10時～午後4時(10月)
～午後3時30分(11月)
入 館 料 無料